

2014 春季キャンプ in 高鍋

今年、高鍋町には、2月2日から3月18日までの期間に過去最多の5チームが春季キャンプに訪れました。

温暖な気候と町民の人柄が伝わる温かいおもてなしに包まれながら、それぞれのチームが、次のシーズンへのステップアップを目標に、町営野球場と小丸河野運動公園そして雨天時には屋内多目的広場などを利用して、練習に励みました。

- ◆春季キャンプ協賛団体◆
- 株式会社児湯青果地方卸売市場
 - 児湯農業協同組合
 - 高鍋商工会議所
 - 南九州ココ・コーポリング株式会社
 - 高鍋町観光協会
 - 宮崎県乳用牛肥育事業農業協同組合
 - 宮崎県農協果汁株式会社

2月2~6日

名古屋商科大学



声を掛け合いながら練習に励む



高鍋の餃子、最高!

愛知大学野球連盟の2部に所属している名古屋商科大学。高鍋町で初めてキャンプを行いました。中村順司監督は盛大な歓迎に「こんな歓迎を受けて、大変うれしい。キャンプ中は、『投げる・打つ・捕る』の総合的な練習をしていきたい」と意気込みを話してくれました。赤松幸輔主将は「高鍋での練習の成果を春のリーグ戦につなげ、1部に昇格したい」と意気込みを話してくれました。

2月12~20日

駿河台大学



歓迎式のときもホテルから走って会場入りした選手たち



細かい指導を受けながら投球に励む

東京新大学野球連盟の2部に所属している駿河台大学。今年入学予定の選手も含めて約80人でキャンプを行いました。飯泉伸一監督は「新1年生も加わってのこのような大人数でのキャンプは初めて。技術面はもちろんだが、メンタル面も含めて、総合的に鍛えたい」と話してくれました。宮崎剛主将は「高鍋でチームの団結力を高めて、1部昇格に挑みたい」と力強く話してくれました。

2月21~3月1日

JFE東日本



歓迎式でハーブ牛や焼き餃子などを贈呈



オープン戦初戦 西部ガスに勝利!

今回のキャンプで唯一の社会人野球部だったJFE東日本。今年で4度目のキャンプを行った青野達也監督は「雪の影響で地元の千葉では思うように練習ができなかった。高鍋では、これまでやってきたことの課題を確認しながら、勝てる集団を作りたい」と話してくれました。また、大澤裕介主将は「高鍋での練習の成果を春のリーグ戦につなげたい」と意気込みを話してくれました。

3月4~13日

桐蔭横浜大学



日本一奪還を目指してバットを振る選手たち



焼きたての餃子に選手たちは大満足!

今年で7度目のキャンプを行った桐蔭横浜大学。2年前の明治神宮大会では大学野球日本一の栄冠に輝きましたが、昨年度はベスト4という結果を踏まえて、齊藤博久監督は「昨年連覇できなかった悔しさをバネに挑戦者に戻って練習に挑みたい」と話してくれました。また喜納淳弥主将は「日本一にふさわしいチームや選手になれるよう練習に励みます」と力強く話してくれました。

3月14~18日

久留米大学



歓迎式でキャンプへの意気込みを語る



オープン戦に向けてウォーミングアップをする選手たち

九州六大学野球連盟に所属している久留米大学。高鍋町のキャンプでは、オープン戦を中心に練習を行いました。善家健一郎監督は「自然豊かで、練習に集中するには最適の町。このキャンプで技術・体力・チーム力の向上を図りたい」と話してくれました。また、中村直哉主将は「このキャンプでチームの連携を図り、一つになって戦える集団を作りたい」と意気込みを話してくれました。



町全体が発信者になれ!
自らがこの町の魅力を「発信し続ける」ことがまちづくりにつながる

高鍋町のたくさんの「いいね!」を発信!

今年の五月に放送をスタートし、今年三月二十六日で終了する高鍋町の広報番組「いいね高鍋! 大使くんが行く」。皆さん、楽しんでいただけましたか? 毎週水曜日の夕方、MRT宮崎放送から一年間にわたり本町の歴史や文化、自然やまちづくりなど、さまざまな魅力を紹介してきました。また、MRTのホームページからも同番組を配信し、県内だけでなく、県外の方にも広く情報を発信しました。一年間での放送回数は四十八回、出演者も町民の皆さんがほとんどで、延べ八十二人を超える予定です。また、テレビからだけでなく、MRTラジオ「GO!GO!ワイド」の「いいね!高鍋コーナー」でも、四十八人の方が電話による生出演をし、本町のPRを行いました。この番組は、MRTの番組制作会社「AVC放送開発」から三人の専任スタッフが、高鍋町内で取材や収録を行い制作しました。スタッフは一年間、この町の「いいね!」を五分という短い時間で伝えるために、早朝から夜遅くまで、年末年始も足を運び、この町の魅力を伝えてくれました。そんなスタッフに、この町で感じたことなどについて、インタビューを行いました。

「いいね高鍋!大使くんが行く」staff interview

この小さな町には
たくさんの魅力が
溢れている



高鍋町の豊かな自然とその横に必ずある人の笑顔。自分のために働くのではなく、地域のため、まちづくりのために働く人たちが、本当にこの町で出会った人たちは温かい気持ちを持った方ばかりでした。

この町には、自然を大切に思い、守っていこうとする人たちがたくさんいます。また、農業や商業、工業を営む人たちは、みんなに喜びや幸せを運ぶために、一丸となって協力してくれる人たちがばかりでした。また、すれ違い時に元気にあいさつしてくれる子どもたち。この子どもたちの存在も町の大きな魅力の一つです。そして、長い歴史を今日まで大切につなぐイベントもありました。この小さな町にはたくさんの魅力が溢れています。

「これをすれば」「あれをやれば」などの特効薬を探すのではなく、まちづくりを一生懸命しているこの町の人だからこそできる「やり続ける」こと、そして、この町の誰かがではなく、自らが町の魅力を「発信し続ける」こと、それがまちづくりにつながるのではないかと思います。



**心の通った番組
ができました**
ディレクター
藤崎 実さん

歴史が好きで、食べ物が好きで、お酒が好きで、自然が大好きな自分には、この町はストライクな町でした。この町にはたくさんの魅力がありますが、その魅力を知ってもらうためには、町外から遊びに来て、どこに何が、どんな魅力があるかすぐに伝わるようにすると、今以上にたくさんの人が足を運んでくれるようになるのではないのでしょうか。

この一年、この町の取材を行って、これまでのどの番組より心の通った番組を作ることができました。番組制作に協力してくださった多くの町民の皆さんに感謝します。



**高鍋町が大好き
になりました**
リポーター
甲斐 蓉子さん

高鍋町には、歴史や文化が感じられるスポットや、ほかの町では珍しいハッチョウトンボやヒメノボタンのような「かわいい!」自然を見つけることができました。

この仕事を通じて感じた、この町の人たちの「まちづくり」に対する思い…。それはたくさんのイベントに参加して伝わってきました。ですが、もっと多くの町民の方が中心となって活躍すれば、もっとこの町が良くなるのではないかと思います。自分の町のことを誇りに思い、みんながひとつになって、この町を盛り上げる、そんな高鍋町のことが大好きです。



**頑張れ!
高鍋町!**
カメラアシスタント
水元 涼太さん

高鍋町には、この仕事をする前から、何度か足を運んだことがありましたが、そのときから「町の人たちが優しい」という印象を持っていました。

仕事を通じて感じたことは、地元の特産品を上手く使った、この町ならではの商品や食べ物があること、そして自然豊かで、魅力がたくさんあることでした。そんな自然の魅力の一つ、海を活用したまちづくりをもっと試みてはどうでしょうか。これからもこの町から宮崎県を、そして日本のまちづくりをリードしていくて欲しいです。



**コンパクトな町に
魅力がいっぱい**
大使くんナレーター
伊豆 譚子さん

これまで高鍋町の印象は「キャベツ」と「カキ」というイメージでしたが、この番組を通じて、今まで知らなかったこの町の情報をたくさん得ることができました。

これから、よりこの町をPRしていくには、鍋合戦やキャベツスイーツなど、よそにはないものをもっと宣伝したり、また、ほかの市町村とのコラボ企画などをするのも良いのではないのでしょうか。町に歴史があるということは恵まれた環境にあるということです。古いものにこだわらず、新しいものが生まれることもこの町の魅力です。これからも、魅力ある高鍋町の成長を楽しみにしています。

「牧水かるた」通じて育む 郷土愛と言語感覚



保護者や地域のボランティア、高鍋高校の書道部の生徒などの協力によって作られた短歌板

高鍋東小学校では、今年度から、郷土が生んだ歌人「若山牧水」の短歌を学びながら、郷土愛と豊かな言語感覚を育てる取り組みを行っています。各学級や校長室、職員室、保健室前の廊下には、牧水の短歌が書かれた板片が並び、児童たちが学校生活の中で、いつでも身近に短歌と触れ合えるような環境になっています。また、児童が構成する放送委員会では、給食時間を利用して、牧水短歌のクイズを作って放送するなど、視覚からだけでなく、聴覚からも覚えることができるよう、積極的に取り組んでいます。



「こんなにたくさん取れたよ！」

短歌を学んでいる日ごろの成果を発揮する場として、昨年十一月と今年二月には、各学年ごとに分かれて「牧水かるた大会」が体育館で行われました。上の句が読み上げられると、牧水の短歌に親しみながら、自然に触れ合う心、人を思いやる心、そして故郷を愛する心を育み、心豊かな大人に成長してくれることと思います。

黒木政信校長は、「牧水の歌を通じて、豊かな言語感覚を楽しく身につけて欲しい。そして宮崎県にはすばらしい人材がいたことや、自然の味わい深さを知り、故郷を愛する大人に成長して欲しい」と話しました。

すばやく下の句の書かれたかるたを取り合う児童たち。静かな会場の中で、熱い闘志が見られました。一年生の団体の部で優勝したうちの一人、新藤孝史郎君は、「練習をたくさんしたので優勝できてうれしかった。これから牧水の短歌をいっぱい覚えたい」と話し、楽しく短歌を学んでいる様子が感じられました。

「臨時福祉給付金」及び「子育て世帯に対する臨時特例給付金」について

平成26年4月から、消費税率が8%に引き上げられる事により、次の給付金が支給されます。

	臨時福祉給付金	子育て世帯に対する臨時特例給付金
支給対象者	平成26年1月1日現在、高鍋町に住民登録をしている人で、平成26年度の市町村民税（均等割）が課税されていない人 上記対象者のうち支給対象とならない人 ・市町村民税（均等割）が課税されている人に扶養されている（扶養控除の対象となっている）配偶者・親・子・祖父母など ・生活保護制度内での支給対象者	平成26年1月1日現在、高鍋町に住民登録をしていて、平成26年1月分児童手当受給者（公務員についても、市町村にて給付） 上記対象者のうち支給対象とならない人 ・支給対象者のうち、平成25年の所得が児童手当の所得制限額を超える人 ・臨時福祉給付金の対象となる人（重複受給はできません） ・生活保護制度内での支給対象者
給付額等	一人あたり 10,000円	児童手当受給対象児童一人あたり 10,000円
加算等	一人あたり 5,000円 支給対象者のうち、老齢基礎年金・障害基礎年金・遺族基礎年金などの受給者	

申請の時期は、6月ごろを予定しています。◆お問い合わせ：健康福祉課 子ども支援係（Tel：26-2010）



高鍋町で行った春季キャンプのお礼にと貴重な講演を行ってくれた

◎球道即人道
二月六日、名古屋商科大学の中村順司監督の特別講演が高鍋町美術館で行われ、監督として、桑田・清原さんなど多数のプロ野球選手を育てた経験などを交えて、来場者は熱心に聞き入っていました。



参加者の一人は「高鍋のカキは天然のうえ、身が大きく、味がまあって美味しい」と満足した様子で話してくれた

◎海の恵みを堪能
高鍋町の特産物である天然カキを自分で焼いて食べられるカキ小屋が今年も一月二十五日、蚊口浜に登場しました。参加者は、波の音と潮の香りを楽しみな音が、焼きたてのカキを味わっていました。



たくさん声援に応えようと、ペースが上がる子どもたち

◎声援に力添え
三月二日、宮崎県立農業大学校・ルピナスパークで「第四十回舞鶴ロードレース大会inルピナス」が行われ、当日は、曇り空の肌寒い日でしたが、約五百人の参加者は、それぞれゴールを目指して、力走しました。



教育とは愛情を持って対応することと話す馬籠氏

◎社会教育の大切さを学ぶ
一月二十三日、高鍋町中央公民館で、第二十三回生涯学習推進大会・第四十回自治公民館大会が行われ、馬籠勝典校長は「学校教育の限界があるが、家庭や地域で行われる教育は無限大。みんなで一緒に子どもたちに社会教育をしてください」と話しました。

新入園児募集中

耐震で機能的な新園舎が完成いたしました。いつでも見学ができます。落成式がありますので、参加希望されます方は直接お電話ください。
保育時間 7:30~15:00 延長保育有 18:30まで
2歳になったら聖母幼稚園へ 只今入園願書受付中
入園案内は高鍋町役場健康福祉課の窓口にあります。
入園ご希望の方はお電話ください。

子育て支援のご案内

毎週 木曜日 10時から（せいぼサークル）
お子さまと、遊具やおもちゃで遊びませんか。
歌をうたったり、紙芝居を見たりゲームをいっしょにしましょう。
駐車は、教会前・黒木本店駐車場カトリックをご利用ください。
(毎日午前中、園庭を開放しています。)
高鍋カトリック聖母幼稚園
高鍋町北高鍋755-1 電話 23-1500

※この欄は広告です。お問い合わせは、広告主へ。

「広報たかなべ」有料広告募集中!! ①4.5cm×9cm=10,000円 ②4.5cm×18cm=20,000円

乗って残そう！公共交通！

公共交通について考えよう！

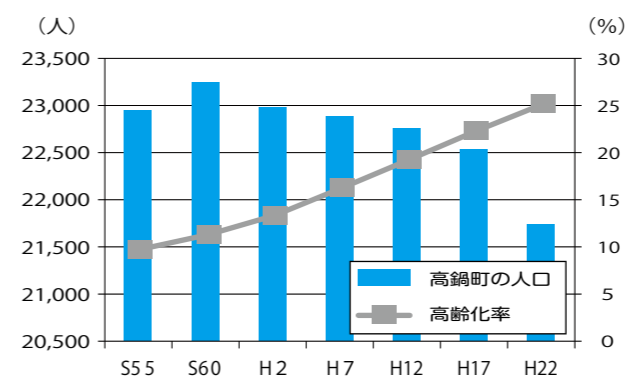
近年、人口減少や自家用車の普及によって、公共交通の利用者が減少しています。一方では、急速な高齢化の進展により、運転免許や自家用車を持たない人が増加し、子どもなどを含まないいわゆる交通弱者にとって、公共交通は生活の足として、必要不可欠なものになっています。

高鍋町においても、例外なく人口減少や高齢化が進展しており（図1）、また、公共交通の利用者は減少傾向が続いています。

事業者が維持できなくなった赤字路線には、関係市町村から補助金を出すことで路線を維持する「廃止路線代替バス」が運行していますが、高鍋町には、それが4路線あります。運行経費から運賃や諸収入を差し引いた赤字分を補助するため、利用者が少なくなれば、その分、高鍋町の負担も増えることになり、補助額は年々増加している状況です（図2）。

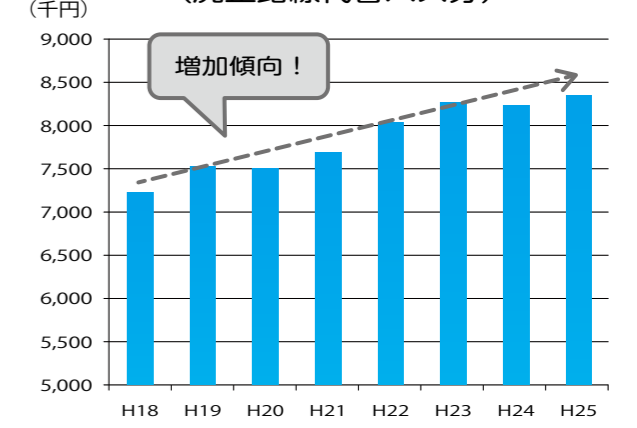
自分にとって公共交通が必要になったとき、今の状態が維持されているとは限りません。一人一人がこのことについて考え、少しでも利用することが、公共交通を守ることに繋がります。

図1 高鍋町の人口・高齢化率の推移



資料：国勢調査
※高齢化率：65歳以上人口の割合

図2 高鍋町補助額（廃止路線代替バス分）



※町ホームページバナー広告も随時募集しています。◆お問い合わせ：政策推進課 情報政策係（Tel：26-2003）

わが町の宝物

みんな元気に育つね。

このコーナーは、9・10カ月児健診に来たお子さんを紹介しています。
今回は、1月・2月の健診に来た元気なちびっこたちです！



けいた
デルナ 恵大ちゃん



くろき ふゆう
黒木 芙羽ちゃん



あだち みさき
安達 美沙希ちゃん



やなぎ ゆうご
柳 佑吾ちゃん



どう きな
土工 希菜ちゃん



ひらた まほ
平田 真帆ちゃん



かわの はるか
河野 陽香ちゃん



はまづみ みさ
濱砂 美咲ちゃん



かわの いちか
河野 唯花ちゃん



すどう れな
須藤 玲菜ちゃん



いなだ まさき
稲田 真樹ちゃん



のぐち りんこ
野口 凜子ちゃん



たなか さくたろう
田中 咲太朗ちゃん



くわの かな
桑野 葉那ちゃん



ながとも しょうき
長友 翔喜ちゃん



たけはら れんと
武原 廉斗ちゃん



さかもと ちえ
坂本 ちえちゃん



もり れいな
森 麗奈ちゃん



さいとう じゆんか
齊藤 純夏ちゃん



さかもと さとみ
坂元 里海ちゃん



さくらい さよの
櫻井 清楚ちゃん



おのづま にこ
六車 虹心ちゃん



ふじはら ひなたちゃん



いなかだ そうじ
稲子田 湊司ちゃん



よしたま かずや
吉玉 和矢ちゃん



ながとも さくら
永友 桜季ちゃん



いせわか みゆ
磯川 実夢ちゃん



もりた さくや
森田 紗久弥ちゃん



ながとも りい
長友 琉泉ちゃん



なりいた
成田 ころろちゃん



もり かな
森 花音ちゃん



ひらおか こうき
平岡 幸輝ちゃん



かねまる まな
金丸 愛奈ちゃん



さかい はのん
酒井 波音ちゃん



よしやま しょういちろう
吉山 正一朗ちゃん



ほその りお
細野 凜桜ちゃん

広報たかなべ 2014. 3. 20 NO. 387

編集・発行／宮崎県高鍋町
〒884 - 8655 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江8437
政策推進課／☎0983 - 26 - 2003

<http://www.town.takanabe.miyazaki.jp>

※「広報たかなべ」は町ホームページでもご覧になれます。

人口と世帯数(3月1日現在・前月比)

人口	21,592人	(-3)
男性	10,211人	(-13)
女性	11,381人	(-16)
世帯数	8,843世帯	(-11)



TAKANABE TOWN